

No.59 抗MRSA薬投与に対して、薬物血中濃度を測定された症例の割合について



P（PLAN：課題設定）

- ・これまでのバンコマイシン（VCM）のTDM（治療薬物モニタリング）実施率は、症例単位で集計できておらず、実施率の精度に課題がありました
- ・テイコプラニン（TEIC）は症例数が少ないため、カルテレビューにより症例ごとの実施率を算出していましたが、より正確な評価方法の構築が必要でした

D（DO：実施）

- ・J-SIPHEへのデータ登録開始に伴い、集計方法を治療コース単位へ変更しました
- ・VCMおよびTEICの全症例についてカルテレビューを実施し、治療コース単位でTDM実施状況を確認しました
- ・症例ごとにTDM実施の要否を確認し、適応症例に対して適切なTDMを実施しました
- ・必要に応じて医師へ提案を行い、TDMの実施を推進しました

C（CHECK：評価）

- ・TDM実施率は、VCM 97.52%、TEIC 98.36%、抗MRSA薬全体では97.64%となり、高い実施率を維持しました
- ・集計方法を治療コース単位へ変更したことで、実際のTDM実施率をより正確に把握できるようになりました
- ・症例ごとの確認により、TDMが不要な症例を適切に除外でき、データの精度が向上しました
- ・高い実施率が維持されており、TDMの実施が施設内に定着していることを確認しました

A（ACT：改善方針）

- ・病棟薬剤師との連携を継続・強化し、高いTDM実施率の維持、向上に取り組んでまいります
- ・治療コース単位でのモニタリングを継続し、TDM実施状況を定期的に評価するとともに、継続的な改善につなげてまいります